

## 太田記念美術館 2026年度 年間展覧会スケジュール

### 歌川広重「名所江戸百景」 最後の挑戦

2026年4月15日(水)～6月14日(日)

前期 4月15日(水)～5月10日(日) 後期 5月15日(金)～6月14日(日) ※前後期で全点展示替え

歌川広重が亡くなる直前まで制作に取り組み、当時の江戸の面影を今に伝える名作119図を約8年ぶりに全点公開。それまでにない奇抜な構図、新たに選ばれた名所の数々など、広重の絵師としての最後の挑戦を読み解きます。

### アニマル&モンスター かわいい・怖い・ちょっと変

2026年6月23日(火)～8月23日(日)

前期 6月23日(火)～7月20日(月・祝) 後期 7月25日(土)～8月23日(日) ※前後期で全点展示替え

浮世絵には、心をなごませる可愛らしい動物から、背筋が寒くなるような妖怪、不思議な形をした奇妙でユニークな存在まで、多彩なキャラクターが息づいています。浮世絵ならではの動物や妖怪たちの表現の豊かさを紹介します。

### 没後50年記念 鳥居言人 歌舞伎絵と新版画

2026年9月1日(火)～9月27日(日)

歌舞伎絵を専門とした流派・鳥居派の八代目として、歌舞伎を題材にした作品を多く手掛け、また大正新版画の時代に描かれた繊細な美人画でも知られる絵師、鳥居言人。その没後50年を記念し、肉筆画や版画作品を紹介します。

### 葛飾応為「吉原格子先之図」夜景の系譜

2026年10月6日(火)～12月6日(日)

前期 10月6日(火)～11月3日(火・祝) 後期 11月7日(土)～12月6日(日)

※前後期で全点展示替え(葛飾応為「吉原格子先之図」は通期展示)

光と闇の描写が印象的な葛飾応為「吉原格子先之図」。この応為の名品を3年ぶりに公開するとともに、夜景を描く作品を多数ご紹介し、浮世絵において夜がどのように表現されてきたのかをたどります。

### あなたの知らない浮世絵師たち

2026年12月12日(土)～2027年1月17日(日) ※12月24日(木)～1月5日(火)は休館

本展では、水野盧朝、五郷、歌川国虎、蒔田俊親など、現在ではあまり知られていない絵師たちをとりあげます。時代とともに埋もれてしまった絵師たちにスポットライトをあてることで、浮世絵の世界の奥深さに触れる展覧会です。

### 遊廓の美術史

2027年1月26日(火)～3月28日(日)

前期 1月26日(火)～2月23日(火・祝) 後期 2月27日(土)～3月28日(日) ※前後期で全点展示替え

遊廓は華やかな世界として浮世絵に数多く描かれました。しかしその輝きの裏には、遊女たちの厳しい現実も存在しています。遊廓がいかに美化され、また、何が描かれなかったのかに目を向けながら、浮世絵が形作ってきた遊廓のイメージの歴史をたどります。